

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成 22 年 3 月 17 日（水）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成 2 2 年 3 月 1 7 日		開 会
		午前 0 時 4 9 分
		閉 会
		午前 0 時 5 5 分
出席者	委 員	加 藤 明 徳 古 内 明 東 條 恵美子 △米 山 定 克 阿 部 善 博 ○中 村 昌 治 二 木 栄 一 大 沢 洋 子 須 田 毅 藤 井 克 彦 角 尾 彰 央
	議 員	議長 岸 浪 孝 志 副議長 菅 原 康 行
欠席者	な し	
説明の ための 出席者	な し	
事務局 職 員	今田議会事務局長 佐藤議事調査課長 河本同課議事班担当課長 佐藤同課同班主幹 今村同課同班主幹 小宮同課同班主幹 八木同課調査班担当課長 田中庶務課長	

協議事項	相模原市議会議員定数について その他
傍聴者	あり
署名	委員長

午前0時49分 開会

○中村委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は11名で定足数に達している。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中村委員長 異議ないので、これを許可する。

これより審査に入る。

—————◇○◇—————

相模原市議会議員定数について

○中村委員長 相模原市議会議員定数についてを議題とする。

昨日に引き続き、協議を行う。

新政クラブ。

○阿部委員 昨日からの間に、任意だが各会派の代表者に集まってもらい、腹を割って話すということで協議をした。私どもからも久保田義則会長が出席して、全会派が賛成できる数字を話し合いの中で見出そうということで、お互い、さまざまな意見、さまざまな考え、違う部分、各会派でもいろいろな議論があることは認識しながら、それでも話し合いの中から、すべての議員が納得できる、その数字なら歩み寄れるという数字ということで、49名という数字を持ち帰ってきた。全会一致という重み、また、これまで議運で議論してきたわけで、当然、この議論は今後の課題として、改選後も引き続き認識しておきながら、今回の議員定数は、全会一致で49名にさせてもらいたという認識でいるが、この議運の場で、各会派の意見を伺いたい。

○中村委員長 新政クラブから、代表者会議で全会一致で49名という話をもらった。この数字に関して異論がある会派がいたら、挙手願いたい。

いいか。——

議運として、最終決定したいと思う。来年の議員定数は、全体で49名、区ごとの割り振りになるので、緑区12名、中央区18名、南区19名という条例の案文を事務局で作成して、これを25日、最終日に議提議案で

上程することに各会派の了承をもらったことを確認してもらいたい。いいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

無所属クラブ。

○東條委員 何回目かの休憩の後に、無所属クラブから話をした、もし、46からふえるのであれば、何らかの形で議会費として削減する案をつくって、一緒に提出すべきではないかと考えている。例えば政務調査費を減らすとか、報酬を減らすとか、やはり、46という条例で決まっている人数から3ふやしたわけだから、その部分については、一定程度、補完として、有権者が納得いくようなものを示したいと思うので、検討をお願いします。

○中村委員長 本日は定数についての協議ということで、今新たに提案されても、午前1時になるので、これはどこかの場で協議していくか、新たな議運で1つ項目を設ける。各会派で、それに対する意向を出せるようだったら出してもらおうということでいいか。

○東條委員 はい。

—————◇○◇—————

その他

○中村委員長 その他、皆さんからいいか。——

長時間にわたる協議、大変ありがとうございました。

次回の議会運営委員会は、3月19日本会議終了後に開会する。

以上で議会運営委員会を閉会する。

午前0時55分 閉会